

## 平成 23 年度 各支部研修の取組

平成 23 年度、24 年度の支部研修は、「児童生徒の健康管理能力の育成」を共通のテーマとし、全県研究につながる研修を実施することで、一人一人の資質向上を目指す。

	研究組織	○研修の内容及び概要・研究方法	講師・指導者・発表者
新潟	1 新潟 小学校部	<p>○生活習慣の実態と課題を洗い出し、これまでの各校の取組の成果を共有しながら、よりよい生活習慣を身につけさせるための健康教育活動を充実させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10 班に分け、班部会を構成する。</li> <li>・ 「平成 22 年度新潟市生活・学習意識調査」「新潟市学校保健統計」等から、新潟市の児童の生活習慣の実態と課題を洗い出し、各班で取り組むテーマを絞る。</li> <li>・ PDCA サイクルを意識して進める。</li> <li>・ 各班の成果を部員全員が共有するために、研究集録を作成し、部内報告会を行う。</li> </ul>	<p>講師：心理学者・臨床心理士 植木 理恵 様</p> <p>「子ども・家族・先生のメンタルヘルス」 (新潟市養護教員会主催講演会)</p>
	1 新潟 中学校部	<p>○地区の研究テーマ「『生徒の心身の健康の保持と増進を目的とした、養護教諭の専門性を生かした教育活動』～生徒が主体的に健康づくりを実践するための有効な養護教諭の支援の在り方～」を通して、県養研の研究テーマ「児童生徒の健康管理能力の育成」を推進していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区研究班ごとの実態や願いに基づいて重点とするテーマを決め、仮説に基づいた研究計画を作成し、研究を進める。</li> <li>・ 班ごとに研究経過をまとめ、報告会を行う。</li> <li>・ 講師を招いて、研究の進め方について研修会を行う。</li> </ul>	<p>指導者：新潟市教育委員会 指導主事 塚原加寿子 様</p> <p>「研究の進め方について」</p> <p>講師：新潟大学教育学部 准教授 有川 宏幸 様</p> <p>「養護教諭が行う研究とは」</p>
	2 佐渡	<p>○児童生徒の健康管理能力を育成するため、養護教諭の支援を視点に置いた健康教育活動を各自で実践する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保健室経営計画の中で養護教諭の支援の視点、意図的対応を明確にする。</li> <li>・ 各自の実践をまとめ、共有化を図る。</li> </ul> <p>○講師を招いて研修会を行う。</p>	<p>講師：新潟県立教育センター 指導主事 長谷川 由佳 様</p> <p>「健康管理能力を育成するための養護教諭の支援」</p>
下越	3 新発田 小学校部	<p>○「新学習指導要領に基づいた保健学習の実践」をテーマに、学習会と公開授業を行う。</p> <p>○心因性来室者への支援のあり方について研修を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保健室来室者の中で、「心因性の来室者」と思われる児童について、各自 1 例ないし 2 例を記録し提出する。</li> <li>・ 講師を招いて研修会を行う。</li> </ul>	<p>講師：新潟県立教育センター 指導主事 長谷川 由佳 様</p> <p>公開授業：新発田市立米子小学校 養護教諭 大崎 加代子</p> <p>「病気の予防―地域の保健活動」</p> <p>講師：青陵大学大学院 教授 碓井 真史 様</p> <p>「心の健康～養護教諭が行う心のケア」</p>

	研究組織	○研修の内容及び概要・研究方法	講師・指導者・発表者
下 越	3 新発田 中学校部	<p>○「自校の健康課題をとらえた健康教育～児童生徒の健康管理能力の育成～」をテーマに研修を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各自が自校の健康課題を見つけ、課題解決につながる健康管理能力を育成するための方法を考える。</li> <li>・自校の実態に応じて実践する。</li> <li>・健康管理能力の育成に役立つ方法について研修する。</li> <li>・実践を発表し合い、共有する。</li> <li>・講師を招き、教育相談に関する研修を行う。</li> </ul>	
	4 村上・岩船	<p>○全体研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師を招き、生活習慣についての講演を聞き、養護教諭の資質の向上を目指す。</li> </ul> <p>○小学校部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の健康管理能力を育成するために、自校での「健康生活週間」の取組を実践する。</li> <li>・「健康生活週間」の取組で使用した資料、教材、情報の共有化を図る。</li> </ul> <p>○中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支部内全中学生を対象に「生活習慣アンケート」を実施し、集計・分析をする。</li> <li>・生活習慣と体調の関係を把握し、グループ討議により、課題解決の方向を探る。</li> </ul>	<p>講師：新潟大学大学院歯学総合研究科 教授 安保 徹 様</p> <p>「子どもの健康な生き方、食べ方」</p>
	5 五泉	<p>○生活習慣改善やメディアコントロールの指導をすすめていくにあたっての研修を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校での実践を情報交換する場を2回設ける。中学校区内の小中連携を図る。</li> <li>・各学校で作成した資料を共有化できるよう、資料集を作成する。</li> <li>・来年度実施する生活実態調査のアンケート項目を検討し、活用方法について研修する。</li> <li>・講師を招いて研修会を行う。</li> </ul>	<p>講師：新発田市立紫雲寺小学校 養護教諭 脇川 恭子</p> <p>「生活改善に向けての有効な手立て」</p>
	6 胎内・聖籠	<p>○「児童生徒の健康管理能力を育成するための養護教諭の支援」をテーマに、各自が自校の課題解決につながる実践をする。</p> <p>○県立教育センター主催の実践力向上研修（体育科：保健）の公開授業に会員全員が参加し、研修することにより各自の資質を高める。</p>	<p>公開授業：胎内市立築地小学校 養護教諭 菅原 菊子</p> <p>「心の健康」</p> <p>指導者：新潟県立教育センター 指導主事 長谷川 由佳 様</p>

	研究組織	○研修の内容及び概要・研究方法	講師・指導者・発表者
下 越	7 阿賀野	<p>○児童生徒に身につけさせたい健康管理能力育成のための取組を各自実践する。各学校の実態から「保健教育」に重点をあて実践を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各校の実態から、児童生徒に身につけさせたい健康管理能力を明らかにし、研修内容を決定する。</li> <li>・日々の執務の中で、健康管理能力育成のための実践をすすめる。</li> <li>・各学校の取組について、情報交換を行う。</li> <li>・1年間の実践のまとめを作成し、全会員で共有する。</li> <li>・講師を招いて研修会を行う。</li> </ul>	<p>講師：新発田市立紫雲寺小学校 養護教諭 脇川 恭子</p> <p>「児童生徒の健康管理能力育成のために～組織で進める保健指導の実践から～」</p>
	8 阿賀	<p>○「保健室経営計画を基にした児童生徒の健康管理能力の育成」をテーマに研修を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度まで取り組んでいた保健室重点活動表を生かし、評価のできる保健室経営計画を各校で作成する。</li> <li>・保健室経営計画の評価方法や考察について研修する。</li> <li>・保健教育に活用できる教材づくり（顎模型）を行う。</li> <li>・執務の中での疑問や悩みについて、情報交換を行う。</li> </ul>	<p>*新潟県立教育センター 指導主事 長谷川 由佳先生 様の指導を受け、支部研修会で伝講講習会を実施する。</p>
中 越	9 燕・弥彦	<p>○「児童生徒の健康管理能力を育成するための養護教諭の支援」をテーマに、各学校の実態に合わせて重点を決めて取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導案や資料の作成、成果や評価のまとめを意識しながら各自実践する。</li> <li>・各学校で取り組んでいる重点項目ごとにグループになり、グループ研修会を行う。</li> </ul>	<p>講師：上越教育大学 特任准教授 中野 博幸 様</p> <p>「養護教諭のためのアンケート分析の初歩」</p>
	10 加茂・田上	<p>○「重点活動表」を利用した保健室経営計画を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作成後、中学校区ごとに発表しあう。</li> <li>・年度末に評価をして、次年度に生かす。</li> </ul> <p>○「保健室来室者」への対応シートを利用し、保健室での日常的な対応を見直す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校での対応について情報交換・検討会を開く。</li> <li>・保健室での具体的な対応の仕方について、講師の方から学ぶ。</li> <li>・学んだことを生かし、各校での保健室来室者への対応を見直していく。（情報交換・検討会）</li> </ul>	<p>講師：藤田心の相談室 藤田 悠紀子 様</p> <p>「保健室での心のケアについて」</p> <p>講師 三条市立第一中学校 養護教諭 田中 祐子</p> <p>「保健室での危機管理について」</p>

	研究組織	○研修の内容及び概要・研究方法	講師・指導者・発表者
中 越	11 三条	<p>○中学校区研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫・小中連携の視点から中学校区の健康課題に応じた研修を行う。</li> </ul> <p>○一人一実践</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校区研修をもとに、各自で実践する。</li> <li>・2年次に全体発表会と各自の実践をまとめ、情報の共有化を図る。</li> </ul>	<p>平成 21・22 年度 新潟県中学校教育研究会指定 養護部教育研究の実践発表</p> <p>発表者：三条第二中学校 養護教諭 石澤 小百合</p> <p>三条第四中学校 養護教諭 古山 成子</p> <p>三条第一中学校 養護教諭 田中 祐子</p>
	12 見附	<p>○「性に関する指導」「小児生活習慣病」について各学校での課題を明確にし、課題解決に向けて実践する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2月に実践発表を行い、成果を共有し、活用する。</li> <li>・テーマに関する実践研究を行い、研修する。</li> </ul>	<p>講師：長岡市立与板中学校 養護教諭 浅井 里恵子</p> <p>「児童生徒の健康管理能力を育成するための養護教諭の支援～生活習慣改善の取組の実践を通して～」</p> <p>実践発表：見附特別支援学校 養護教諭 加藤 英子</p>
	13 長岡・三島	<p>○中学校区単位の健康課題別グループ研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各校が支部共通のチェックシートを用いて把握した自校の健康課題を持ち寄り、中学校区で情報交換をする。</li> <li>・中学校区全体での健康課題を協議し、決定する。</li> <li>・各中学校区を健康課題別に合わせたグループ編成を行い、課題解決に向けた取組を計画、実践する。</li> </ul> <p>○合同グループ研修会</p> <p>○個人研究・実践</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「児童生徒の健康管理能力の育成」を主題とした個人研究（グループ研究）・実践に取り組む。</li> </ul> <p>○研修内容の共有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ研修、個人研究実践を機関誌「陽日」に掲載する。</li> <li>・合同グループ研修会で活動内容を報告する。</li> <li>・研究推進だよりを発行する。</li> </ul>	<p>講師：新潟大学医学部 教授 後藤 雅博 様</p> <p>「発達障害を持つ児童生徒に対する養護教諭の役割」～将来を見据えて小中学校で何が大切か～</p>

	研究組織	○研修の内容及び概要・研究方法	講師・指導者・発表者
中 越	14 十日町	<p>○中学校区単位で、地域の健康課題や小中一貫教育に向けてグループ研修を行う。年度末に報告会を行い、研修の成果を全会員で共有・活用する。</p> <p>(研修内容例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健室来室者への養護教諭の対応と見取りの視点</li> <li>・保・小・中で取り組む自立への支援</li> <li>・小中一環教育に向けた学校保健委員会</li> </ul> <p>○全体研修会で健康相談やソーシャルスキルトレーニングのに関する研修を行う。</p>	<p>講師：柏崎厚生病院精神科 結城 麻奈 様</p> <p>「小中学生に見られやすい精神疾患の基礎知識」</p>
	15 小千谷	<p>○自校の健康課題解決に向け、一人一実践を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各自の実践を研究集録にまとめる。</li> <li>・実践発表と意見交換をし、全会員で共有する。</li> </ul> <p>○「保健室での健康相談」に関する研修を行い、指導力の向上を目指す。</p>	<p>講師：臨床心理士 片山 さゆ 様</p> <p>「ストレスコーピングについて」 ～バウムテストや風景構成法の活用～</p> <p>講師：入広瀬小学校 校長 伊佐 貢一 様</p> <p>「Q-Uを用いた学級集団の診断（と対応）」</p>
	16 魚沼	<p>○評価計画を含む保健室経営計画を作成し、評価・改善・課題分析を継続して行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康課題別グループによるグループワークや意見交換をし、効果的な取組について共有する。</li> <li>・実践集録の作成と実践発表を行い、全会員の共有化を図る。</li> <li>・講師を招いて保健室経営計画についての研修会を行う。</li> </ul>	<p>講師：中越教育事務所 指導主事 村山 真理子 様</p> <p>「効果的な保健室経営計画の作成について」</p>
	17 南魚沼	<p>○児童生徒の健康管理能力を育成するために、各自が取り組むことを決め、実践する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各自の実践の中に、セルフチェックや他者評価を取り入れながら。児童生徒の変容を見取る。</li> <li>・実践発表や実践集の作成を行い、成果と課題を確認する。</li> </ul>	<p>講師：前県立長岡高等学校 前養護教諭 福島 栄子 様</p> <p>「児童生徒の健康管理能力を育成するための養護教諭の役割」</p>

	研究組織	○研修の内容及び概要・研究方法	講師・指導者・発表者
中越	18 柏崎・刈羽	○中学校区別グループで「児童生徒の健康管理能力の育成」に向けての実践を行う。 ・グループで健康課題を明確にし、研修内容を話し合い、実践する。	講師：兵庫教育大学 教授 富永 良喜 様 「心の教育のあり方と入れ方」 「ストレスとは何か：ストレスの仕組み・上手に付き合う方法」  講師：大分大学 教授 住田 実 様 「朝食と生活リズム おもしろ大実験」 (鏡が沖中学校 講演会に参加)
上越	19 上越	○養護教諭は「健康管理能力の育成」のためにどのような視点で児童生徒への支援を行っているのかを個々の実践の中から明らかにする。 ・保健教育、保健管理、健康相談など養護教諭の職務の中から、自校の健康課題や子どもの実態にあった分野を1つ選択し、「健康管理能力の育成」に視点をおいた具体的な実践計画を立て、実践をすすめる。 ・分野別グループによる情報交換、実践報告会を行う。 ・2年次は実践発表会、実践記録集の作成を行う。	講師：上越教育事務所 指導主事 中村 直美 様 「養護教諭が育てる健康管理能力とは」
	20 妙高	○児童生徒の健康管理能力の育成するために、各自が課題を設定して実践する。 ・年2回のワークショップ開催 ・情報交換 ・実践をレポート形式でまとめる。	講師：県立教育センター 指導主事 長谷川 由佳 様 「児童生徒の健康管理能力を育成するための養護教諭の支援～これからの考え方と方向性について～」
	21 糸魚川	○保健教育、保健管理、健康相談、保健組織活動の中から、各自が取り組む領域を決め、児童生徒の健康管理能力を育成するための「保健室来室者への対応とその視点」について2年間研究を行う。 ・学校規模ごとにグループワークを行う。 ・実践発表を行い、指導を受ける。(全3回) ・会員各自が2年間の研究をレポートにまとめ、養護教諭が行う「保健室来室者への対応とその視点」を明らかにする。	指導者：県立教育センター 指導主事 長谷川 由佳 様 「児童生徒の健康管理能力を育成するために1」  指導者：上越教育事務所 指導主事 中村 直美 様 「保健室来室者への養護教諭の対応と視点」  指導者：上越教育大学 教授 角田 智恵美 様 「児童生徒の健康管理能力を育成するために2」